

the most beautiful
villages
in japan

喜界町は「日本で
最も美しい村」連合
に加盟しています。



広報

平成27年(2015年)

1

No.571

きかい

祝 平成27年喜界町成人式

家族・友人・周囲の人に支えられ、
この日を迎えることができました!!



喜界町キャラクター
よるこびと

表紙説明

平成27年喜界町成人式が1月2日、自然休養村管理センターで行われた。今年出席した新成人は男子42人、女子43人、計85人。表紙は旧第一中学校区代表が新成人の抱負を述べる様子。詳しくは本誌6p。

CONTENTS

新年のごあいさつ P 2	シマの話題 P 8	すこやかニュース P17
年男・年女のメッセージ P 4	暮らしの情報 P14	おおきくなあれ 他 P18
平成27年成人式 P 6	教育委員会のとびら P16	くらしのカレンダー P20

新年の「あいさつ」

町・町教育行政・町議会の代表より
町民の皆さまへごあいさつ申し上げます



川島健勇 町長

「小粒でもきらりと輝くいい島」を目指して

新年、明けましておめでとうございます。新しい年平成27年（2015）を迎え、謹んで町民の皆様方のご健勝をお喜び申し上げます。

さて、昨年3月、奄美群島振興開発特別措置法が5年間延長され、これまでのハードを中心とした事業からソフト事業にも力点が置かれ、平成26年度から新たな施策が展開されています。飛行機・船の運賃が安くなったり、農水産物の輸送費に助成金が出たり

しているのが、その一例です。国・県の支援を有効に活用して島の振興につなげるのは我々地元の責務でありますので、更なる効果的な施策を実施していく考えです。

それから昨年、喜界島は、1年間で170人も人口が減少しました。地方における人口減少は全国的な傾向とはいえ、町政を預かる者として一番の心配事です。とはいえ、一発逆転満塁ホームラン的な解決策はありません。産業の振興、医療・福祉を始めとした定住環境の整備、教育・文化の振興など総合的に推進していく必要があると考えています。大いなる可能性を秘めたわが島、今後も未だ十分に活かされていないその可能性に期待しつつ光を当てていきます。

また、世界の先進国において

て富裕と貧困の格差拡大が大きな社会問題となりつつあり、一部の人たちの中ではそうした過度の競争社会を嫌って、「田園回帰」の動きが広まってきているといわれております。私たちが島の良さを活かす努力を粘り強く続けていけば、きっと島の魅力が浮上する時代が来ることでしよう。

それから昨年は、「小粒でもきらりと輝くいい島」という本町のキャッチフレーズそのままに、将来光り輝きそうな話題がありました。

(一) 光通信網を島内に張り巡らせるための海底ケーブルの敷設が進んでいます。今後企業誘致、遠隔診断、特産物の販路開拓など多方面での効果が期待されます。

(二) 北海道大学によるサンゴ礁研究施設が旧早町小学校

跡地に開設されることが決まりました。サンゴ礁研究者など国内外からの来島が期待され、島のイメージアップにもつながります。

(三) 小野津集落の地域文化等宿泊体験学習施設、花良治集落のおもてなしゲストハウスなど集落の既存施設・知恵・ボランティアを活用した取り組みが芽を出してきており、集落の活性化のみならず、島外からの誘客にもつながっております。

このほかにも、喜界高校卒の原泉君の東京ヤクルトスワローズへの入団、現役喜界高校生の県高校美術展での最高賞受賞など、これから大きく輝きそうな原石を紹介すればまだまだありますが、紙面の都合により、割愛します。

このように、わが喜界島はまさに動き出し、加速をつけていく時です。

さあ、町民の皆さん、本年も共に「小粒でもきらりと輝くいい島」を目指して邁進していきますでしょう。最後になりましたが、新しい年が町民の皆様にとってすばらしい年で

ありますよう、ご祈念申し上げます。



積山泰夫 教育長

「可能性への挑戦と向上心」

町民の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は学校再編3年目の充実期を迎え、学校教育、社会教育等において、安定した成果が求められる年でありました。幸いにも、町民の皆様が学校・家庭・地域の連携のもと、様々な分野において御尽力いただき、すばらしい成果を挙げていただいたことに心からお礼を申し上げます。

学校教育の面では、幼稚園・小学校・中学校において子供たちは、学習・運動・生活等に積極的に取り組み、地区図画作品展、地区作文・読書感想文コンクール、各種の

スポーツ大会等ですばらしい成績を収めています。運動会(体育大会)や発表会(文化祭)等での幼児・児童・生徒のひたむきな態度・発表には、保護者・地域の皆さんから賞賛・感動の声がたくさん寄せられました。

社会教育の面では、2月に中央公民館の民俗資料室の整備が完成、3月18日には荒木・中里海岸の「喜界島の隆起サング礁上植物群落」国指定天然記念物に指定、4月1日には旧滝川小に「埋蔵文化財センター」の開設、と目度い事が続きました。同センターでは、城久遺跡群出土品の保存・展示、シンポジウムの開催や青銅製鋤先発見の記者会見も行なわれ、新聞発表等により町内外の注目を集め、同センターを訪れる人々が増えています。また、故・長島公佑氏が町に寄贈した図書館は、開館30周年を迎え、同氏の顕徳碑の建立・除幕式や記念式典・講演会が開催されました。中央公民館の社会教育学級・公民館講座に561名の町民が学び、合同閉講式・

公民館祭りではその成果を発揮され、町に「大きな学びの風」を吹かせていただきました。

生涯学習・生涯スポーツが強く叫ばれる中、町民の皆様がさらに「一町民一学習(読書・郷土学習等)・一スポーツ・一ボランティア」を心がけ、

生きがいや健康づくりを通して、知・徳・体を磨き、喜界町の発展につなげていただけたらと思います。

本年も、「ふるさとと自らに誇りをもつ教育の推進」を目指して、学校教育、社会教育を力強く推進して参ります。町民の皆様の温かい御支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

おわりに、皆様のご健康とご多幸を心から祈念して、新年のごあいさつといたします。



中島智一 町議会議員

「自ら学び、心豊かで活
力に満ちた、潤いのある、
町づくり」を目標に」

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。気分も新たに、平成27年の新春のお慶びを申し上げます。

昨年のドラフト会議において本町出身の原泉君が、東京ヤクルトスワローズから指名を受け、3人目のプロ野球選手が誕生しました。また、春の選抜高校野球大会では大島高校が甲子園出場を果たし、奄美群島初の快挙を達成しました。おめでとうございます。

今年のサトウキビの生産量については、いまだはつきりいたしません。昨年並みの8万トンを期待するところがあります。畜産では、子牛の価格が上がり、頭数も1,200頭を出荷して、初の

6億円越えを達成しました。

TTP(環太平洋連携協定)は越年いたしました。現状維持ができればと思うところであり。白ゴマについては、天候に左右され例年にならずでしたが、今年こそは昨年の分まで取り戻すような大豊作を期待したいところでもあります。

奄美群島振興開発特別措置法は、奄美群島成長戦略ビジョンの実現に向かって、農業・観光交流・情報の重点3分野を基軸に文化・定住を計画に盛り込んでいます。今回は、早期から県出身の国会議員等の応援を得て、奄美12市町村及び鹿児島県を含めた要望活動を実施した結果、航空・航空路運賃や、農産物輸送コストへの助成金などを対象にした一括交付金が創設され、新しい奄振法の延長が決まりました。

公共事業費の削減でいまだ低迷の中から抜け出せない島内の建設業については、奄振法の新年度予算はまだ決まっています。畜産では、子牛の価格が上がり、頭数も1,200頭を出荷して、初の

待するところがあります。

また、本町だけが未整備となっていた情報通信ネットワーク整備ですが、昨年からの工事が着工され、現在は光ファイバー設置工事の海上部分を終え、今年から陸上部分の整備が始まります。

平成27年は、喜界町のスローガンである「自ら学び、心豊かで活気に満ちた、潤いのある、町づくり」を目標とし、さらには、「日本で最も美しい町」連合に加盟している本町は観光交流にも力を入れ、「住みよい町」を目指していければと思います。

今年「羊年」。羊はおとなしくて優しいイメージがありますが、町のマスコットキャラクター「よろこび」と共に大きく飛躍できる年になればと期待したいところがあります。

町民皆様の益々のご健勝とご多幸を御祈念申し上げ、新しい年を迎えるに当たつての年頭の挨拶と致します。

年男年女の メッセージ

今年(未(ひつじ)年。ここで未年を迎えるみなさんにメッセージを綴っていただきました。



久野 一馬さん
(昭和6年生)

大工人生を振り返って

木造建築を手がけて早60年。これまでやってこれたのも島の方々のご支援によるものだと深く感謝しています。

私は大工を引退するまで台風銀座と呼ばれる奄美群島の喜界島で、台風に強い家造りという伝統工法を守ってきました。そして、大工として最後の仕事は中里の神社の再建でした。仕事を終え、その高台の境内から一望できる中里集落の景色はまた格別でした。『スーム元気でチバリヨウ』と心の中で願う私です。



濱川 寛子さん
(昭和6年生)

感謝

この年まで現役で農業ができることに感謝です。

私は学校卒業と同時に父母と農業を始めました。当時は自給自足の時代で、キビ作り、イモ作り、米作りと一生懸命働きました。若いときに鍛えた体力のおかげで、今でも日中は畑仕事、夜は校庭でウォーキング、ラジオ体操を日課としており、明日への体力作りに励んでいます。

体を鍛えてくれた亡き父母に感謝の毎日です。



藤岡 幸雄さん
(昭和 18 年生)

感謝の心で

私が満1歳を迎えた時は

戦争中でした。物心ついた頃は食糧難で親は相当苦勞したと思います。あれから73年、今は平和な世の中で健康に恵まれたことを親に感謝しています。

また、学校再編という時代の流れには感慨深いものがありました。

これからは『今も青春』の気持ちで地域への年相応の貢献を心がけ、家族へ感謝しつつ誠実に過ごしたいと思えます。



中 文子さん
(昭和 18 年生)

お隣さんと友人と

「俺は、島に帰る」。55才の秋に宣言し、断行した旦那様。半年後、私も追っかけて中里に帰郷。すぐに、お隣さんと友人が手を差し伸べてくれた。「頑張りヨ」。「疲リンナヨ」。黒糖アスターギーやクリハーの苗木等を頂き、身も心もほっこり。力一杯温かく支えら

れ、ふと立ち止まると「古希」。喜界島の希有な自然、熱く美しい人情や文化。お隣さんと友人と手を取り合って、大切に育みたい。



源久 幸一さん
(昭和 30 年生)

還暦は通過点

今年私は還暦を迎えます。大きな節目・分岐点であることには間違いありませんが、昨年、ある方から「だんなーいくつになるんすよ」と言われ、「来年還暦どー」と答えると、「えーまだわーさそー」と言われました。今や還暦は定年の年ではなく、『人生の道半ば』といったところでしょうか・・・



碓山 千恵子さん
(昭和 30 年生)

出会いに感謝

高校を卒業し、上阪した頃の、島が恋しくてずいぶん涙を流しました。それから結婚・出産し、10年ぶりに島に帰郷。我が子が母校に入学し、校歌を聞いて感動したことが最近のようです。

そんな私も早還暦を迎える年になりました。これまでお世話になった皆様や家族に感謝の気持ちを忘れずに、前向きに楽しい人生を過ごせるように努力していきたいです。



竹田 守さん
(昭和 42 年生)

命いっぱい

48年の生活を振り返ると、12歳まで勝商店でチロルチョコとベビースターラーメンを好んで食べていた。24歳までコーラーとポテトチップスが好物だった。36歳までビールばかりを飲んでた。現在まで色々なアルコールの痛飲

後、病院で診てもらい今は薬ばかりを飲んでる。60歳までの私は青汁ばかりを飲んでるだろう。

周囲の笑顔をたくさん頂きながら「生(セエ)」をいのちいっぱい楽しんで生きたいと思っております。



思 美由紀さん
(昭和42年生)

ありがとうの気持ちで

昭和42年、私達は人情味あふれ自然豊かなこの島で生を受けました。あつという間に過ぎた48年。私達は本当に成長したのでしょうか？

今年1年、これまでの恩に感謝して未のごとく明(メー)と明るい一年になることを祈ります。



福岡 建朗さん
(昭和54年生)

前進

この喜界島に生まれて36年。3回目の未年を迎えた年男です。未来を切り拓く若者から、それなりに年齢を積み重ねた人として形を残していかなければならない年齢になったと感じています。

これから、まわりの人達との付き合いを大事にしなから少しずつ前進し、強く芯のある人になっていきたいと思えます。



山倉 愛美さん
(昭和54年生)

感謝

小さい頃から、おじいちゃん、おばあちゃんが大好きだった私が、老人ホーム喜界園に働き出して7年

目!! 忙しさの中にも、たくさんの笑顔とたくさんの幸せがあります。お年寄りの言葉は、いつも私を前向きに強くしてくれ、お年寄りの笑顔はいつも私を優しい気持ちにしてくれます。

今年もそんな素敵でやりがいのある職場で、お年寄りの方たちと、元気に笑顔いっぱい過ごせたら幸せです。



山口 兼司さん
(平成3年生)

感謝と成長できる年

今年も家族4人、笑顔で新年を迎えることができました。これも理解ある妻、可愛い子供、両親、周りの方々の協力があったおかげだと思っています。

助けてもらってばかりいた昨年とは違い、今年は支え、支え合い、頼り、頼られながら、すごく楽しい年にしたいです。



前底 瑞希さん
(平成3年生)

自分スタイル

2015年がスタートしました。父(浩千)と母(房子)の愛情をたっぷり受けて育った私も、今年で24歳になります。元気だけが取り柄の私ですが、今年も私らしく! 今まで通り元気と笑顔だけは忘れずに、自分スタイルで過ごしていきたいです。そして、少しずつ親孝行していこうと思います。

今年も家族4人、笑顔で新年を迎えることができました。これも理解ある妻、可愛い子供、両親、周りの方々の協力があったおかげだと思っています。



豊島 弘太くん
(平成15年生)

上級生として!

今年には多くの年、羊年で。今年目標は上級生として下級生を引っ張っていくことです。6年生になったらサッカーの大会も多く

なるので、スポーツと勉強を両立させていきたいです。



若松すみれさん
(平成15年生)

元気第一! 笑顔あふれる年

私は今年、元気で笑顔あふれる年にしたいです。スポーツ、読書などをがんばり、いろいろなことに挑戦していきたいです。そして、羊のように和を大切に、笑顔あふれる元気な日々を送り、たくさんの人と出会い、思い出をたくさんつくっていききたいです!

『羊』は群れをなすところから「家族の安泰」を表し、いつまでも「平和」に暮らすことを意味しているときられています。『未』の干支の特徴としては、穏やかで人情に厚いと言われているそうです。

協力していただいた皆様、快くお引き受けいただき、ありがとうございます。



新成人 (男子42人・女子43人)

平成27年喜界町成人式

—新成人85人が晴れの門出を飾る—

喜界町成人式実行委員会などが主催する平成27年喜界町成人式が1月2日、自然休養村管理センターであった。式に先立ち、オープニングイベントが催され、川畑さおりさんらの島唄や中高生のフラダンスが披露された。

式は、実行委員会の開会のことばで始まり、国歌斉唱、町民憲章の朗読があった。

川島健勇町長は式辞で「みなさんは本日から立派な成人として認められる。成人すると権利を与えられると共に義務を果たさなければならぬ。先人が築いた歴史と文化、豊かな自然などに感謝しながら、ふるさとと自らに誇りを持つことが大切。今日のこの輝かしい栄えある門出を心より祝福し、今後のご健闘をお祈りします」と述べた。

その後、中島智一町議会議長の祝辞と、積山泰夫教育長の励ましの言葉があり、町から記念写真目録、町選挙管理委員会から成人手帳目録が贈

呈された。

新成人に贈る言葉で、TBSテレビ（東京都）に勤務する吉本香苗さん（お茶の水女子大学卒・赤連出身）が自身の体験談を交えながら、「20代を振り返ると、楽しかったが辛いことも多かった。しかし、大人は自分の人生を進む方向を選ぶことができ、自分が考えたことを実行できると感じた。もちろん、目指した所に就職できないなど思い通りにならないこともあると思うが、自分が決めた道を歩んで行かなければならない。また、幸せと感ずることは人それぞれであり、これからは自分が幸せかどうか『自分の人生が良いのか悪いのか』の基準となる。『自分にとって何をすることが幸せか？』をよく考えて生きてほしい」と激励した。

また、旧3中学校を代表する3人が舞台上上がり、新成人としての抱負を述べた。内容は以下の通り。



辻 美和子さん (旧早町中卒・塩道出身)

私は高校卒業後、看護専門学校に進学した。看護の専門的な知識と技術を学ぶ中、かけがえない命を預かるといふ大きな責任を負うことなどを痛感している。辛いこともあったが乗り越えることができたのも家族や友人、周囲の方々の支えがあったから。また、島を離れて改めて喜界島の良さ、家族や友人、周囲の人々の支えを感じた。支えてくれた人達への感謝の気持ちを忘れず、島の方々の温かさ、島で過ごしてきた思い出を胸にこれからも精進していきたい。



生田 千秋さん (旧二中卒・上嘉鉄出身)

高校卒業後、大阪の専門学校に入学した私が島外に出て強く感じたことは喜界島への郷土愛。豊かな自然、温かい町民、当たり前だと思っていたことがかけがいのないことだと痛感した。生まれ育った喜界島が私の誇り。私達はこれから大きな壁にぶつかっても、『しまんちゅの心』を胸に進んでいく。今日私達が成人式を迎えられるのも両親、先生方、地域の方々、共に学んだ仲間達のおかげ。私達を支えてくれた大切な方々への感謝の気持ちを忘れず恩返しをしていこう。



三浦 大輝さん (旧一中卒・湾出身)

中学卒業後に島を離れた私は、これまで両親や友人、地域の方々の支えを改めて知った。特に友人の存在は大きく、卒業後バラバラになった今でも、『島人会』の存在が私の心の支え。島を離れたことで、自然豊かな喜界島をより一層好きになり、誇りに思えるようになった。成人式を迎えられたのも多くの方々の支えがあったから。この節目を機にその方々と喜界島に恩返しをしながら、私達の昔からの合い言葉『喜界の子もやればできる』を胸に、壁を乗り越え成長していく。



青年代表の挨拶をする吉本さん



今月の話題

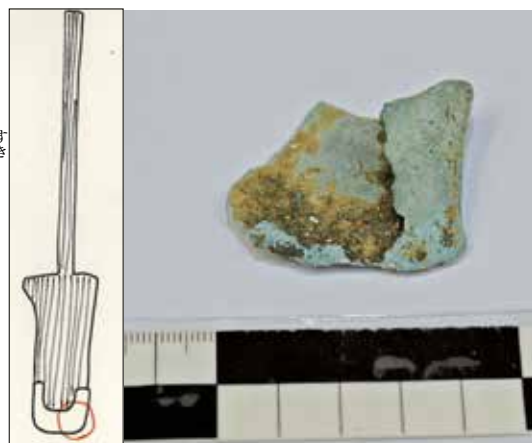
弥生時代後期と推測される青銅製鋤先が川尻遺跡で出土!

町 埋蔵文化財センターは12月11日、同センターにおいて県営

畑地帯総合整備事業に伴う遺跡発掘調査で発見された川尻遺跡（手久津久）から出土した『青銅製鋤先（縦3・5センチ横4センチ）』の記者発表を行った。

同センターの職員は記者発表で「一昨年の12月、県立埋蔵文化センターの職員に青銅製品の実見を依頼すると『全国的に見ても出土事例が少ない青銅製金属製品ではないか』と指摘があった。それを受け昨年2月、青銅製金属製品に詳しい西南学院大学・高倉洋彰教授（当時）に調査を依頼した結果、弥生時代後期に福岡県西部で製作・使用された青銅製鋤先であると判明した」と説明した。

この青銅製品について高倉教授は「袋状をした下端部の一部と刃先部分が残っており、青銅製鋤先の特徴を良好にとどめている。これまで九州・山口などの遺跡からの出土例があり、南限は佐賀県の千塔山遺



赤丸の部分と思われる発見された青銅製鋤先

跡。この鋤の用途は柳田康雄氏の論文（※1）によると、儀式的性格の強い墓穴掘りに使われた可能性を示唆している」と述べ、喜界島で発見されたことについて「弥生時代後期の北部九州社会では、沖縄諸島から南西諸島の西海岸に沿ったルートで多量の南海産巻貝が運ばれていた。ルートから外れている喜界島からなぜ発見されたのか現段階では分からないが、弥生時代後期に盛んな南北交流があったと考えられる。また、この製品は古墳時代に製作されなくなり、南北交流も激減していることから、もたらされた時期は弥生時代後期の可能性が極めて高い」と推測した。

【※1「青銅製鋤先」『鏡山猛先生古希記念古文化論改』（1980年発行）】

FC喜界が初優勝を飾る!

龍 郷町サッカー連盟が主催する

第13回ドラゴンJ O Y C U P サッカー大会が11月15・16日の2日間、同町グラウンドで開催された。

大会には、郡内からA級（3・4年生）とB級（2年生以下）あわせて34チームが出場し、A級では本町のFC喜界が初優勝を果たした。

FC喜界は、予選リーグを圧倒的な強さで突破し、決勝トーナメントに進出。本戦も順調に勝ち進み、決勝は小宿FCを3対1で下し勝利した。また、大会MVPには最多得点（18点）の辻崎智大くんが選ばれた。辻崎くんは「MVPはみんなのおかげ。次の大会もシュートをたくさん決めたい」と謙虚さをみせながらも自信を覗かせた。



優勝したFC喜界のメンバーら【提供写真】

楽しいトークとひろのば体操に興味津々



今井院長の話を熱心に聞く参加者ら

喜 界町健康づくり講演会『足指伸ばせば人生が変わる』（役場保健福祉課主催）が12月22日、役員コミュニティホールで行われた。

講師には、今井一彰医師（みらいクリニック院長・福岡市）が招かれた。今井医師は、ユーモア溢れるトークで会場を爆笑の渦に巻き込みながら、自らが発案し最近メディアでも話題になっている足指の健康体操『ひろのば体操』を実践した。

ひろのば体操を体験した高山恵美子さんは「普段は少し歩くだけで腰が痛くなるが、足の指を伸ばすだけの簡単な体操で、歩くのが少し楽になったのでびっくりした」と満足げに講演会での体験を語った。

佐手久集落の子供達のために
バス停に待合所を設置!

佐 手久集落（思照也区長）はこ
のたび、同集落公民館前のバ
ス停に待合所を設置した。

工事には地元業者が携わり、集落
の子供達も防錆剤を塗ったり、壁磨
きなどを手伝い完成させた。看板の
文字は、すべて子供達の手作りで、
集落民も予想以上の出来上がりにな
っているという。愛称は「未知の駅」
で、「子供達よ『未来』へ『知識』
を求め、この『駅』で集い語り合お
う」という思いが込められている。

思区長は「この未知の駅が皆の『ゆ
らい』の場所となり、集落の活性化
に繋がればいい。この駅を他集落の
方にも見てほしい」と話した。
【報告・写真提供 北島公一さん】



バス停完成を喜ぶ子どもたち

「支えあって」 濱井さんの作品
が人権作文コンクールで優秀賞



喜界小学校で伝達式が行われた(濱井さんは中央)

人 権週間（12月4日～10日）に
合わせて鹿児島県方法務局な
どが主催する『第18回県小学生人権
作文コンテスト』がこのほど行わ
れ、濱井南咲希さん（喜界小6年）
の作品『支えあって』が高学年の部
優秀賞に選ばれた。同コンテストに
は、県内の小学生から2,385点
の応募があり、低・中・高学年の各
部で最優秀賞1点、優秀賞3点を決
定した。

受賞した濱井さんは「賞をもらっ
て驚いたけど嬉しかった。私が書い
た作文をたくさんの人に読んでもら
い、少しでも多くの人が人権につい
て考えてくれてたら」と思いを語っ
た。

自然に優しい食材で作られた
オーガニック商品をPR

N PO法人オーガニックアイ
ランド喜界島（若松洋介代
表）は11月16日、自然休養村管理セ
ンターでオーガニック映画祭&オー
ガニックマルシェを開催した。

会場では、オーガニックに取り組
む大分県臼杵市のドキュメンタリー
映画『100年ごはん（大林千葉黄
監督作品）』が上映された。上映後
は大林監督などを囲みパネルディス
カッションが行われ、オーガニック
の将来性やブランド化などについて
熱い議論が交わされた。

さらに会場では、有機食材でつく
られた天ぷらやソーメンなどの即売
会も催され、来場者は安心安全とい
うオーガニック食材を堪能した。



オーガニックについて熱く語る大林監督（左から2番目）

早町小学校児童らが
椎茸栽培に挑戦!



椎茸のコマ打ち体験をする参加者ら【提供写真】

早 町小学校（堀口俊雄校長）児
童らは同校校内で椎茸栽培に
挑戦している。

児童らは11月30日、県大島支庁林
務水産課職員から指導を受け、栽培
の準備作業を行った。約1畝に切り
そろえられた原木（カシヤシイの
木）100本にドリルで1センチ程度
の穴を開け、しいたけ菌（種駒）約
3千個を植え付け、体育館横に設置
した。収穫は2年後の秋頃を予定し
ている。

参加した南村紬さん（6年）は「作
業は思っていた以上にスムーズに行
えた。椎茸ができたなら焼いて醤油を
かけておいしく食べたい。生長が楽
しみ」と感想を述べた。

ふくみの話題

同窓生が一致団結し、

バレーボールに熱狂

同 窓生の誇りを懸けた熱き戦い『平成26年混成壮年年代別バレーボール大会（町バレーボール協会主催・三山八十三理事長）』が11月30日、喜界中学校体育館と町体育館の2会場で開催された。同大会は、平成16年から開催され今回で10回目の節目となる。

大会には、昭和40年代生まれのチームが出場するA級の部と、昭和



念願のA級初優勝の昭和46年生チーム



B級連覇を達成した昭和33年生チーム

30年代生まれのチームが出場するB級に各7チームが出場した。試合では、年齢を感じさせない元気浚刺としたプレーで熱戦が繰り広げられた。

結果は、A級は46年生チームが初優勝。B級は33年生チームが見事2連覇を達成した。

46年生の龍田さつき監督は「今回は応援団も充実し、選手も普段通りのプレーができた。念願の初優勝を同窓と一緒に喜びたい」と話し、33年生の折島智和子監督は「勝因は、良い場面でサーブが決まったことや、チームワーク。また、大会のためにはわざわざ笠利町からも同窓がかけつけてくれた。連覇できて嬉しい」と喜びを語った。

農業研修ーターナー者・佐藤さんが研修を終える

町

農業後継者育成事業（役場産業振興課）の研修生として認定されたインターン者の佐藤盛幸さん（静岡県出身）が11月14日、半年間にわたる研修期間を終えた。

営農支援センターや農家で、かばちや、すいか、唐辛子、ゴマを中心とする野菜栽培の指導を受けた佐藤さんは「研修では、ハウス栽培が台風、病気、害虫など、農家が深刻な問題を抱えやすい現実を知り、離島では、鮮度が要求される野菜類の生産は本土より不利であることを身をもって実感した。今後は、離島の特産を生かした農業について考えた。研修で今後の人生の糧となる体験ができた」と感想を述べた。



町長から終了証書を受け取る佐藤さん

園芸の基礎を学ぶ



熱心に園芸の研修を受ける参加者ら

産

業振興課が主催する『自給野菜講習会』が11月11日、営農

支援センターで行われた。会には、園芸（野菜）に興味がある92人が参加し、同課職員や県大島支庁喜界事務所農業普及係職員から園芸の基礎を学んだ。同研修会は、町民の要望により昨年より開催されている。

参加者らは、カボチャやブロッコリー、インゲン、ピーマンの栽培方法のコツや病害虫対策についての説明を受けた。

同課担当職員は「研修会は来年度も年2回開催する予定。この研修会をきっかけとして園芸に多くの町民が興味を持ってくれれば」と期待した。

北海道大学の博士らがサンゴ礁から過去の喜界島の環境調査へ！

喜

界島でサンゴ礁の調査を行う渡邊剛博士ら（北海道大学）は12月19日、役場コミュニティホールで『サンゴ礁科学セミナー〜喜界島のサンゴが語る地球環境変動〜』を演題に講演会を行った。

講演会で渡邊博士はサンゴ礁の生態について説明した後、「サンゴは年輪を刻みながら成長し、そこには様々な環境の変化などが記録されている。今後の調査で、過去に喜界島で起きた環境の変化などを解析できる可能性がある」と期待した。

今後、渡邊博士らは旧早町小学校跡地に『喜界島サンゴ礁科学研究所』を設立し、海中だけでなく陸上のサンゴ調査も進める予定。



サンゴ礁について熱く語る渡邊博士

集落の元気な超高齢者がゲートボールで対決



優勝・準優勝した伊砂B・Aチーム

町

ゲートボール愛好会（西俣理介代表が主催する『超高齢者（80歳以上）健康祈願交流ゲートボール大会』が12月12日、旧坂嶺小跡ゲートボール場で行われた。

大会には6チームが出場し、審判などの関係者を含め約50人が集まった。結果は、伊砂Bが優勝し、準優勝は伊砂A、3位は赤連。また、今年の男子最高齢者は、昨年に引き続き顧末一さん（佐手久・大正8年生・95歳）。女子は櫻井邦子さん（伊実久・大正15年生・88歳）。

顧さんは「今でも週3回練習し、町内の大会にも出場している。これからもプレイができる限り続けたい」と意気込みを語った。

立て続けに珍しい渡り鳥が飛来！ヒシクイ・オオハクチョウ

国

の天然記念物のヒシクイ11羽とオオハクチョウ1羽が昨年、立て続けに飛来した。

ヒシクイは11月中旬、中西公園近くの牧草地で餌をついばむ姿を発見された。ヒシクイはカモ目カモ科でガンの仲間。全長は80センチ程度で、全体が暗褐色。オオハクチョウは12月中旬、荒木の漁港で発見された。オオハクチョウはカモ目カモ科で全長は140センチ程度。成鳥は全体的に純白色だが今回飛来した個体は幼鳥のため灰白色をしている。

動物を研究する国立科学博物館濱尾章二博士は「いずれも非常に珍しい渡来例。この冬の寒波で迷行してしまった可能性もある」と推測した。



ヒシクイ（上）とオオハクチョウ（下）

島内唯一の拝賀式で子どもたちが新年の抱負を語る！



堂々と新年の抱負を述べる子どもたち

荒

木子供育成会（勇まゆみ会長）が主催する『拝賀式』が元旦、旧荒木小体育館で行われ、小学生15人、中学生14人、高校生2人が参加した。式では、全員で『いちがひ（いちがひ）』などを歌い、挨拶で集落区長らが子どもらの健やかな成長を願った。その後、子どもらは一人ずつ新年の抱負を述べ、集落から激励の意が込められたお年玉をもらった。抱負を述べた脇康太くん（喜界小1年）は「今年算数のテストで100点をとります」と堂々と語った。

現在、拝賀式を行う集落は島内で荒木のみ。明治19年の旧荒木小学校開校当時から始まっており、今回で125回目となる伝統行事。

ふまの話題

昔ながらの無添加みそづくり
をしてみませんか？

町 中央公民館で毎年10月～3月
までの期間、無添加味噌造り

教室が開催されている。今回は、その講師を務めている高山恵美子さん
を取材し、製造方法などを教えてい
ただいた。また、今回の味噌造りは、
120粒の味噌を想定している。

一日目 ①麦約40粒を1回揉み洗い
後、水が澄むまで洗う。②洗った麦
を1時間半から2時間程度水に浸
し、粒に爪を立てて少し窪む程度
までにする。③約1.5倍に膨らん
だ麦を水切りし30分程度置く。④麦
を蒸し器で約20分間蒸す。⑤蒸した
麦を台の上に広げ揉み込むようにし
て混ぜ、人肌の温度ぐらいまで冷ま
し、麹菌を混ぜる。⑥麦を消毒した
麹箱にいれ、麹室で一晩寝かす。⑦
大豆約30粒を洗って一晩水に浸けて
おく。

二日目 ①前日、水に浸けた大豆を
約30分程度水切りする。②大豆を圧
力釜で約20分間蒸し、そこで火を止



大豆と麦、麹菌を合わせたものをミキサーにかける

めさらにそのまま20分間蒸らし、ザ
ルに受ける。③大豆を台の上に運
び、広げて少し冷ます。④広げてあ
る大豆に一晩寝かせた麦と大豆を揉
むように混ぜながら塩約4粒を入れ
る。⑤ミンチ機にかけ、ミンチ状に
して出来上がり。

※以上の様な工程で製造しますが、
スペースの関係で、細かい表現など
は省略しています。

同館によると、昨年期は16グルー
プ総勢242人が参加し、約2.4
トの味噌を製造した。今期も製造す
るグループを募集している。申込み
はグループ単位となり、材料費や日
程など詳しいことについては中央公
民館（☎6510229）まで。希望
される方はお早めに。

様々なイベントに子供たちが笑顔
～100スポーツクラブ～

き かい100スポーツクラブは
12月6日、町総合体育館でプ

ロバスケットボールチーム「レノ
ヴァ鹿児島」の園田明球団代表を講
師として招き、「バスケットボール
教室」を開催した。同教室には、初
心者や小・中・高のバスケット部員
と社会人ら約40人が参加した。

最初、子供たちは緊張気味だった
が、講師のユーモアあふれる指導に
つられて次第に笑顔が始め、様々
なコーディネーションの動きからバ
スケットにつながる動作など学ん
だ。終了後には、興味を持ったバス
ケット初心者小学生がミニバス
ケットクラブに入会するなど、協会
にとっても有意義な教室となった。



バスケットボールに親しむ子どもら【提供写真】



ドッチボール大会を楽しむ子どもら【提供写真】

翌日7日、同クラブは商工会青年
部と子ども会育成連絡協議会と共催
し、塩道長浜公園で「スポーツフェ
スタ2014 in早町（スポーツ振興
くじ助成事業）」を開催した。

ドッジボール大会には小学生15
チーム約140人が参加。結果は、
高学年の部はFCきかい、低学年の
部は湾子ども会&喜界S・JVC
が優勝した。その他フェスタでは、
交通安全の講話や伝統芸能の発表、
ニュースポーツ体験や綿菓子などが
あった。また、焼きそばなどの出店
や、豪華景品がたくさん用意された
ビンゴ大会など盛りだくさんの内容
が催され、会場は大盛況だった。
【報告・写真提供 同クラブマネー
ジャー 梶原貴史さん】

新年あけましておめでとうございませう
〜年賀状配達式〜

喜 界郵便局（郡山孝秀局長）で『平成27年年賀状発式』が元旦の午前7時に行われ、配達員らは大量の年賀状を積んだ十数台のバイクに乗り込み、一斉に同局を出発した。

郡山局長は「島内の郵便局が地域の拠点として利用していただけるよう社員一同『バカまじめ』に取り組みます。新年の挨拶の年賀状をまごころこめて配達します」と話した。

ちなみに、今年の切手柄は羊がマフラーをしている姿を採用している。12年前（平成15年）は、マフラーを編む羊が描かれており、12年の間にマフラーを編み上げたというドラマが隠されているという。



年賀状を積んだバイクが局を出発

空港の安全を守る！
〜空港ハイジャック事件対応訓練〜



本番さながらの迫真の演技

喜

界空港管理事務所は12月5日、『喜界空港ハイジャック事件対応訓練』を同空港内で行った。この訓練は、警察の協力のもと空港内の安全管理のため、毎年開催している。

想定された訓練は、空港に到着した機内で乗客に紛れたハイジャック犯が乗客一人を人質にとり、飛行機への給油と別空港に向かうことと、食事を届けることを要求。警官が犯人と交渉する中、飛行機の影に隠れている別の警官と弁当屋に扮した警官が犯人の確保を行うというもの。訓練は現場さながらの緊迫した中行われた。また同日、酔っぱらった不法侵入者への対応訓練も実施された。

暮らしの情報 インフォメーション



子どものころと今のちに関する講演会

支える

気づく



寄り添う

見守る



日時：平成**27**年**2**月**8**日(日)
14:00~16:00



場所：大島支庁4階大会議室

入場無料



内容：
『子どもの心をレスキュー！
～あなたにも出来るメンタルケア～』

10～20歳代のお子さんがある

お父さんやお母さん・学校の先生など必見！

いじめや進学への重圧、就職難など現代の子どもたちはストレスフルな環境にあります。問題や試験を乗り越えるために支える私たちには何ができるでしょうか。

また、支える私たちのセルフケアも大切です。ストレス軽減の方法について聞いてみませんか？

【講師】高輪こころのクリニック院長 精神科医
（早稲田大学名誉教授） 仲村 禎夫氏
同クリニック 臨床心理士 伊藤三枝子氏

問い合わせ先

鹿児島県大島支庁保健福祉環境部

(名瀬保健所) 地域保健福祉課 担当：吉村

TEL：0997-57-7243

主催：鹿児島県名瀬保健所



税務署からのお知らせ
確定申告は
正しくお早めに！

平成26年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告は、平成27年2月16日(月)から平成27年3月16日(月)までとなっています。

所得税は、納税者自身が所得金額や税額を正しく計算して納税する申告納税制度を採用していますので、申告と納税は、期限内にお済ませください。確定申告書の提出は、郵送等でもできます。

申告期間が間近になりますと、申告相談会場は大変混雑し、長時間かかる場合もありますので、お早めに申告をお済ませください。

なお、国税庁ホームページ(www.nta.go.jp)又は国税庁で検索)の、「確定申告書等作成コーナー」で申告書の作成ができますので、是非ご利用ください。

詳細は最寄りの税務署にお尋ねください。

【大島税務署】

☎ 52-4321

※自動音声案内

年賀状ありがとうさま!

このたび、「2015全国郷土紙連合「年賀状」大作戦」において喜界町キャラクター「よろこびと」が参加しました。

全国より404通の年賀状がよろこびとの元へ届きました。素敵なイラストやご挨拶ありがとうございます。

届いた年賀状にはすべてよろこびとからお返ししました!

※名前・住所の書き忘れや読むのが難しかったものについて、返事が届かなかったり、名前等の書き間違い等があるかと思えます。そういった場合は下記までお問い合わせください。



【お問合せ先】
喜界町役場 企画課
TEL: 0997-65-3683
FAX: 0997-65-4316

国保に関する情報や健康づくりを紹介する 「国保でHOT情報」 毎週水曜日の午前10時23分から10時30分 MBCテレビで放映中

「国保でHOT情報」では、国保に関する情報や皆さんの市町村で行われている健康づくりなどを7分間の番組の中でわかりやすく紹介しています。

医師などの専門家による生活習慣病などの発症予防や重症化しないためのポイント、そして、それぞれの市町村で行われている高血圧予防教室や脳卒中予防教室などの保健事業の取り組みを担当者の声を交えながらお伝えしています。また、市町村で住民の健康づくりのために活動している健康づくり推進員の様子や、高齢者の皆さんがふれあいや情報交換の場として参加する「ふれあいサロン」の活動も紹介していますので、ぜひご覧ください。



●和紙づくり教室を開催します!●

有料広告

材 料 バショウ・ゲットウなど(材料はこちらで準備します)

開 催 日 2月1日(日)、2月22日(日)、3月22日(日)

場 所 旧荒木小学校 西校舎

時 間 午後2時~4時まで

募集人数 各日20名程度(参加者1人でも開催します)

参加費用 無料(活動中の傷害保険等はありません)

連絡先 TEL 65-3264 携帯090-4513-3148 (光岡 力)

開催日の5日前までに申し込まれて下さい

町からのお知らせ

保健福祉課からのお知らせ [平成27年度 保育所入所の申込み]

【受付期間】平成27年1月28日(水)
～平成27年1月30日(金)

※平成27年4月1日入所希望の方は、必ずこの期間内に申込みをして下さい。

【受付時間】午前8時30分～午後5時15分

【受付場所】喜界町役場保健福祉課

※申込用紙は各保育園、保健福祉課にあります。

【対象児】ひまわり第一保育園：小学校就学前の児童

ひまわり第二保育園：小学校就学前の児童

【入所基準】つぎのいずれかに該当する場合

- 就労
- 求職活動（起業準備含む）
- 妊娠、出産
- 就学（職業訓練校などにおける職業訓練を含む）
- 保護者の疾病、傷害
- 虐待やDVのおそれがあること
- 災害復旧

- 同居又は長期入院等をしている親族の介護・看護
- 育児休業取得中に、すでに保育を利用している子供がいて継続利用が必要であること
- その他、上記に類する状態として喜界町が認める場合

※詳しくは保健福祉課
(TEL 65-3685)へ
お問い合わせ下さい。



住民課からのお知らせ [毎月5日はエコライフデー!]

地球環境を守るかごしま県民運動推進会議

毎月5日をエコライフデーとし、電気・水・燃料などの省エネ活動やエコドライブに取り組んでいます。

1月の取り組み

環境にやさしい住まい方（ごみ減量）

- ①ごみは減らします
- ②マイ箸・マイカップを使います。
- ③長く使えるもの、詰め替え商品などごみが出にくい商品を選びます。



有料広告

平石司法書士 事務所です

新年あけましておめでとうございます。

不動産登記、商業登記、借金問題や過払い請求、成年後見、法律相談(簡易裁判所の範囲)などお気軽にご相談ください。

平日10時から18時まで開業していますが、これ以外の時間でもOKです。

アクセス

赤連から喜界空港への道路。

「園芸のヨシカワさん」手前右折れ。

門の家。(居酒屋彩花さんななめ前)



・事務所 〒891-6202

鹿児島県大島郡喜界町湾445-1

・TEL 0997-65-1793

・携帯 090-7045-5523

・Mail kumanokogoshima174123@docomo.ne.jp

教育委員会の

とびら

サイエンス・パートナーシップ・プログラム

本年度、喜界小学校と早町小学校は、文部科学省の事業「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」を受託しています。この事業では、県立博物館と連携してアサギマダラのマーキング活動やオオゴマダラの繁殖による保護活動などに取り組み、児童が喜界島の自然の価値を自覚し、自ら環境保全に関わる意識や態度を育てることをねらいとしています。

喜界小学校3年生（47人）は、12月3日（水）にアサギマダラのマーキング活動を行いました。県立博物館で昆虫担当の金井賢二学芸主事と喜界町でアサギマダラの調査・研究を続けている福島誠さんを講師に招き、滝川林道で歩きながらアサギマダラを捕獲し、合計約150匹にマーキングして、空に放ちました。中には、山口県から飛来してきたものもあり、その方と連絡を取ることがも



きました。児童たちは、小さなチョウが遠く離れた場所から海を渡ってくる事実に驚いていました。

平馬璃空くんは、「アサギマダラがいろいろなところへ飛んでいく途中に喜界島を休憩所として利用していることに驚いた。今度の休みには家族と一緒にマーキングしたい」と感想を述べていました。

早町小学校3年生（8人）は、翌4日（木）に同講師の指導でオオゴマダラの生態や飼育法、観察活動の仕方などを学習しました。オオゴマダラの食草である「ホウライカガミ」について学んだり、幼虫の年齢を知る方法や幼虫が吐き出す糸につかまって移動する様子など貴重な姿を観察したりしました。豊原怜志くんは、「幼虫がすごい勢いで葉を食べていることと、脱皮した頭で何齢かを見分けられることに驚いた。これからは幼虫やさなぎを大切にしたい」また、柏原碧斗くんは、「教えてもらったことを元にオオゴマダラの研究を頑張りたい」と話していました。

三学期には、各学校の取組について発表し合う計画です。



平成26年度公民館まつり開催

12月21日（日）標記まつりが行われ、21教室から約130名の受講生が日頃の学びの成果を披露しました。奄美の伝統文化「三味線」教室の発表や中国語講座は「太極拳」を披露、舞踊教室など多種多様なプログラムで、発表を見ようと訪れた約250名の観客からは大きな拍手が送られていました。



今年度の公民館講座を受講した受講生は、「教室に通うことで、自分の三味線技術はもろろん、新たな出会いがあり、そこから人のつながりを感じる事ができるので、これからいろいろなことにチャレンジしていきたいです。」と楽しそうに語っていたのが印象的でした。



太極拳を披露する「中国語教室」の受講生

その他、中央公民館ロビーでは書道や生け花などの展示もあり、多くの町民が生徒の作品に見入っていました。

今年度は公民館講座33講座、地域講座5講座に約570名の町民が受講し、充実した時間を過ごすことができました。

【生きることは学ぶこと。】です。

少子高齢化が進む中で、生涯学習を通して学ぶことの大切さや必要性を感じる町民も増えていきます。生きているからできることがあります。生きているからやらなければならぬ。それぞれの立場で生きていくためにも生涯学習は必要不可欠なものであると考えます。そこから大切なものが生まれることもあります。町民の皆様の積極的な講座への参加をお待ちしております。

総合グラウンド改修工事中

平成26年12月1日～平成27年3月16日まで、総合グラウンドのナイター設備、外柵、トイレ新設の工事を行っています。

工事期間中は夜間の利用はできませんので町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

日中の利用は生涯学習課まで直接お問い合わせください。

【生涯学習課】 ☎65-3682



すこやかニュース

すこやかセンター (☎ 65-3522)

あひまの
あひまの
あひまの



今年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

赤ちゃんが欲しい
妊娠を希望される方へ

喜界町では、現在、不妊治療に係る旅費の助成(夫婦二人分)を行っています。昨年度・今年度合わせて、四組の方の利用がありました。また、治療費の助成についても県(名瀬保健所)で行っています。

妊娠・不妊治療に関する心配事や不安、助成の詳細などについてご相談がありましたら、「保健福祉課・すこやかセンター」まで、ご相談下さい。



《上記・妊娠 / 不妊治療等に関するご相談先》

- 保健福祉課健康増進係 (すこやかセンター)
母子保健係 Tel 65-3522
- 名瀬保健所母子保健係
Tel 52-5411

ノロウイルスにご注意!

ノロウイルスは、手指や食品などを介して、経口で感染し、嘔吐・下痢・腹痛などを起こします。

1年を通して発生しますが、特に冬季に流行します。

予防としては調理する人の健康管理・作業前などの手洗い・調理器具の消毒です。



日頃の衛生管理が基本です

次亜塩素酸…ハイター等

ノロウイルスの感染を広げないために

食器・環境・リネン類などの 消毒

- 感染者が使ったり、おう吐物が付いたものは、他のものと分けて洗浄・消毒します。
- 食器等は、食後すぐ、厨房に戻す前に塩素液に十分浸し、消毒します。
- カーテン、衣類、ドアノブなども塩素液などで消毒します。
 - 次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があります。金属部(ドアノブなど)消毒後は十分に薬剤を拭き取りましょう。
- 洗濯するときは、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いし、十分すすぎます。
 - 85℃で1分間以上の熱水洗濯や、塩素液による消毒が有効です。
 - 高温の乾燥機などを使用すると、殺菌効果は高まります。

おう吐物などの 処理

- 患者のおう吐物やおむつなどは、次のような方法で、すみやかに処理し、二次感染を防止しましょう。ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあります。
 - 使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用します。
 - ペーパータオル等で静かに拭き取り、塩素消毒後、水をきります。
 - 拭き取ったおう吐物や手袋などは、ビニール袋に密閉して廃棄します。その際、できればビニール袋の中で1000ppmの塩素液に浸します。
 - しびきなどを取り除かないようにします。
 - 終わった後、ていねいに手を洗います。

ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

調理する人の

健康管理

- 普段から感染しないように食べものや家族の健康状態に注意する。
- 症状があるときは、食品を直接取扱う作業をしない。
- 症状があるときに、すぐに責任者に報告する仕組みをつくる。

作業前などの

手洗い

- 洗うタイミングは、
 - トイレに行ったあと
 - 調理施設に入る前
 - 料理の盛付けの前
 - 次の調理作業に入る前
- 汚れの残りやすいところをていねいに
 - 指先、指の間、爪の間
 - 親指の周り
 - 手首

調理器具の

消毒

- 塩素消毒
 - 洗剤などで十分に洗浄し、塩素濃度200ppmの次亜塩素酸ナトリウムで浸しながら拭く。
 - ※エタノールや酸性石鹸はあまり効果がありません。
 - ※洗剤などで十分に洗浄し、熱湯で加熱する方法も有効です。



3歳児健診で虫歯ゼロだったよ!!



瀬ノ口 裕斗くん



滝元 桜海ちゃん



荒本 紗ちゃん



夏目 一郎くん

* 1歳になりました *



吉川 芽衣ちゃん(湾)
(父 譲治・母 祥美)

食いしん坊で愛嬌たっぷりの芽衣さん！
これからもお兄ちゃんと仲良く、すくすく大き
くなってね！！ (父母より)

* おおきくなあれ *



藤村 良輝くん(13歳・右)・大成くん(11歳・左)・
静香さん(8歳・中央) (父 昭次・母 公苗)【上嘉鉄】

長男・良輝、部活、勉強の両立をがんばれ!!
次男・大成、今の調子でがんばれ!!
世話好きな長女・静香、笑顔でがんばれ!!
これからも3人の成長が楽しみです。(父母より)



3人ともさらさらした目で
夢を語ってくれました。

— 今月の題字 —

『い』岩川 剣武くん
『か』市川 竜くん
『き』廣瀬 大くん

今月の広報『きかい』の
題字を書いてくれたのは、
喜界小学校6年い組の3
人。その3人に将来の夢を
聞いてみました。

廣瀬くんは「小学校の
先生になって子どもたちと
一緒に勉強したり遊んだり
したい」。市川くんは「錦
織圭選手のようなプロテニス
プレイヤーになりたい」。岩
川くんは「制服がかっこい
い陸上自衛官になりたい」。

今月の花

～ツルソバ・ホソバワダン～

道端に咲くツルソバ。ツルソバは、畑地や土手などに生えるタデ科の多年生草木。草丈は1～2メートルで、茎は長く伸び、ときにつる性となって地面をはう。白色か淡紅色の3～4センチの花を咲かせ、高さは実は光沢がない黒色。開花時期は5月～1月と長期間咲く。花言葉は『いつもそこに』



ホソバワダン

百の台に咲くホソバワダン。ホソバワダンは海岸の岩場や隆起珊瑚礁上に生えるキク科の多年生草木。花は8～12個まとまって約1.5センチの黄色の花を咲かせる。高さは20～50センチ。葉は、解熱や下痢止め、高血圧の民間薬として使われることもある。

花言葉は『たくさんの感謝』



ツルソバ

喜界歌壇

（萌葉会）
 応召の君を見送る港へと 急ぎしかの日の永遠の列れに
 ビュンビュンと風の冷たさ身にしみて 冬の訪れ早くも実感
 繁栄を極めしビルもさら地とは 高齢化の波どこまでつづく
 スンカ 大根葉の季節到来食卓に 自然の恵みほのかただよふ
 野良仕事二人合わせて一人前 ゆるりゆるりとそれも又良し
 在りし日の亡夫の好みし大相撲 遺影を胸に千秋楽
 人の念無限の力持ちつつも ブレーキかける不安な心
 ささなれど贈るよろこびお年玉 孫への思ひ宅配にさせて
 ルーニー いね子
 豊島 瞳
 佐東喜三郎
 所屬部隊官等級氏名乗れと言う 二世通訳のまなざし優し
 捕虜という言葉のひびきおぞましく 偽名乗りにて尋問に答ゆ



まだわあさんと

児玉 桂子さん

(昭和4年生・85歳・早町)

「ゲートボールに行つて友達とお話するのが楽しいんです」と笑顔で話す桂子さん。桂子さんは、郵便局員だった夫を支えながら1男3女を育てあげ、今は9人の孫と4人のひ孫がいます。また以前は、民生委員を約20年務め、婦人会活動にも積極的に参加されてきたそうです。長寿の秘訣は「友達と会話すること」と、「自分で塩分控えめの食事をつくること」だそうです。これからも元気に長生きしてください。

戸籍の窓

こんにちは赤ちゃん

氏名	(保護者・住所)
里村 紗和	(和之・湾)
肥後 琴音	(貴志・赤連)
向井 浩晃	(淳一・赤連)
美島 照元	(秀人・中里)
松本 良音	(雄次・赤連)
操 洋人	(博司・志戸桶)

いしもでもお幸せに

氏名	(住所)
千坂 聖士朗	(赤連)
竹内 沙利奈	(早町)
吉住 則昭	(湾)
澤田 のぞみ	(白水)
赤崎 恵輔	(奄美市)

ごめい福をお祈りします

氏名	(年齢・住所)
春岡 梅子	(79才・上嘉鉄)
前島 トシエ	(80才・白水)
星倉 トヨ子	(91才・先山)
清野 安子	(92才・小野津)
新野 壽徳	(72才・志戸桶)
崎野 トシ子	(73才・浦原)
濱上 大	(57才・志戸桶)
中島 範子	(87才・赤連)
榮多 克仁	(78才・湾)

社協だより (敬称略)

氏名	(住所)
春岡 繁市	(上嘉鉄)
吉川 キ又工	(花良治)
清田 孝	(小野津・兵庫県在住)
前島 初男	(白水)

ふるさと納税 (寄付金)

氏名	(住所)
橋本 徹	(栃木県壬生町)
橋本 勝子	(栃木県壬生町)
山本 勝	(鹿屋市)
友田 英助	(東京都八王子市)
金井 清治	(京都府長岡京市)

ふるさと納税 (寄付金)

氏名	(住所)
三浦 幸七	(東京都江戸川区)
福島 光太郎	(大阪府大阪市)
川島 基	(東京都品川区)
壽光 雄	(神奈川県綾瀬市)

納付をお忘れなく! (1月)

【税】国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者保険料 2/2まで

【使用料】1月分簡易水道・下水道使用料・公営住宅使用料・保育料 2/2まで

役場 1階会計又はお近くの金融機関で納めてください。納入はお早めに!!

喜界町の推計人口

(平成26年12月1日現在)

世帯数	3,473 戸 (△1)
人口	7,438 人 (1)
男	3,609 人 (△3)
女	3,829 人 (4)

() は前月比



成人式ミニスナップ集



くらしのカレンダー

(平成 27 年 1 月 21 日～ 2 月 20 日迄)

- 中公 中央公民館
- 研修 役場研修室
- すこ 旧すこやかセンター
- トレ 役場トレーニング室
- 会議 役場 2 階会議室
- コミ 役場コミュニティホール
- 子育 子育て支援センター

日	月	火	水	木	金	土
			1/21	1/22	1/23	1/24
			●黒糖焼酎教室【中公】	●登記相談【研修 9:00～13:00】	●平成 25・26 年度大島地区指定研究協力校「学力向上」公開研究会【早町小】 ●1歳6カ月児健診【すこ 13:15～】	●喜界小学校土曜授業実施日 ●喜界町家庭学習サポート教室「やる気塾」【トレ 14:30～16:30】
1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31
●文化財防火デー訓練（旧早町小校区）【塩道高千穂神社 15:00～16:00】 ●職員採用試験（2次募集）【会議 9:00～】	●内科診療【診療所・～1/28まで】	●2歳・2歳半 歯科健診【すこ 13:15～】	●特別整理期間のため休館【図書館・～2/6まで】 ●あゆみ幼稚園 体験入園【あゆみ幼】		●喜界中学校 新一年生説明会【喜界中】	
2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7
			●立志のつどい【喜界中】 ●中高一貫入学者選抜【喜界高校・～2/5】 ●精神巡回相談【診療所 8:30～】	●精神巡回相談【診療所 8:30～】	●のぞみ幼稚園 体験入園【のぞみ幼】	●喜界町家庭学習サポート教室「やる気塾」【トレ 14:30～16:30】
2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14
				●図書団体貸し出し（各幼稚園・各保育園・早町学童・子育て支援）【各施設 13:00～15:00】	●体操教室【コミ 19:00～20:30】	●喜界小学校土曜授業実施日 ●喜界町家庭学習サポート教室「やる気塾」【トレ 14:30～16:30】 ●体操教室【コミ 9:30～11:00】
2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	
●平成 26 年度喜界町シマ唄・シマゆみた大会【コミ 13:30～】	●母子相談（0～1歳児）【子育て 11:00～12:00】	●移動図書館（1・2・3年）第8期【早町小 13:00～13:50】 ●文化芸術による子供の育成事業巡回公演『公演団体：萬狂言・公演演目：「柿山伏」他』【早町小体育館】	●移動図書館（4・5・6年）第8期【早町小 13:00～13:50】 ●黒糖焼酎教室【中公】 ●子育て支援来館日【図書館 2階 11:00～11:45】	●ブックスタート 第6回【保健センター 13:15～】 ●乳児検診【すこ 13:15～】 ●登記相談【研修 9:00～13:00】		

毎週月曜日は図書館休館日です。
毎週土曜日 14:00～はお話し会（図書館 2 階）です。

※行事は変更になる場合があります。ご了承ください。